



ムサシモ	<i>Najas ancistrocarpa</i> A.Braun ex Magnus	絶滅危惧I類
(環境省:絶滅危惧IB類)		イバラモ科
選定理由	生育地が限定されており、大部分の生育地で個体数の減少が著しいため。	写真(清水英彦) 
形態の特徴	葉は糸状で幅1mm未満、鋸歯があり、長さ7-25mm、葉鞘の先は切形で鋸歯が出る。県内のイバラモ属の中では見た目が華奢なグループである。花期は7-9月。果実は葉脇に1個付き、著しく曲がるのが特徴。	
生態的特徴	湖沼、溜池、水田などにきわめて稀に生育する沈水性の一年草。	
分布状況	本州(関東地方以西)・四国に分布し、岐阜県では県南西部に分布する。	
減少要因	水辺環境の改修工事、水田の改修工事や乾田化、水質悪化。	
保全対策	開発行為からの生育環境の保全。	
特記事項		
参考文献	角野康郎. 1994. 日本水草図鑑. 文一総合出版, 東京.	

文責:清水英彦